

やまゆり

学校だより

令和5年7月10日
27号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点 「健やかな身体の育成」・「豊かな心の育成」

部活動での学びを今後の生活に生かす

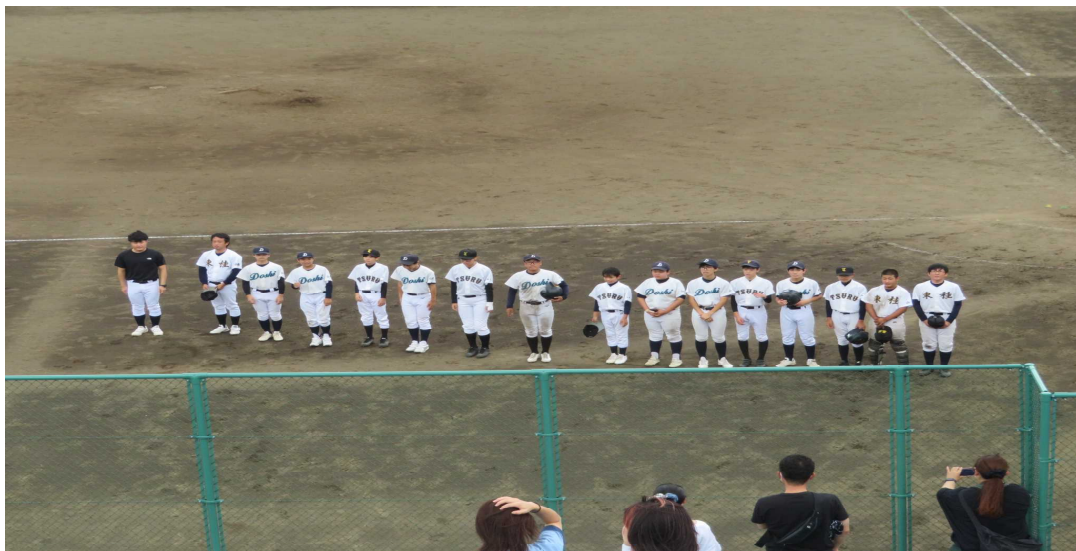
7月8日(土)に野球部と卓球部が試合をしました。野球部は、富士吉田市の市制祭大会への招待試合、卓球部は県選手権大会への参加でした。両部活動共に、この大会への参加で3年生が引退することになりました。

入部から2年4ヶ月の長い年月でした。各自が選択した部活動を通して、3年生一人一人が今後社会で活躍するための様々なことを学ぶ事ができました。指導していただいた先生方や一緒に努力してきた友人や下級生、支えていただいた家族等の方々に感謝し、今後の学習や学園祭等の取り組みに生かして欲しいと思います。

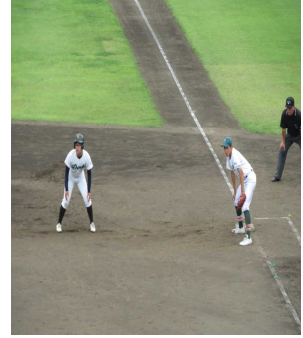
両部とも、思い通りにならない苦しい展開の中でも、最後まであきらめずチームのメンバーと励まし合いながら試合をすることができました。スポーツを通して得た礼儀と人間性を十分に発揮することができた、素晴らしい試合でした。

生徒を支え、応援し続けて下さいました保護者の皆様、ありがとうございました。

北麓球場での試合終了後の応援席への挨拶(道志中・都留一中・東桂中合同チーム)



苦しい展開の中でも諦めずに、最後まで声を出し続け、努力し続けた姿こそ評価すべき



入部から引退まで、できる・上達する・勝てると信じて練習を続けた日々が一番の宝物



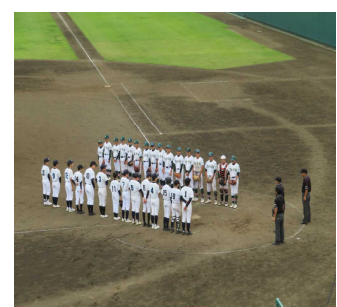
一球一球に一声かけで応援し続けたベンチの先生方と生徒たち 献身的な言動を学ぶ



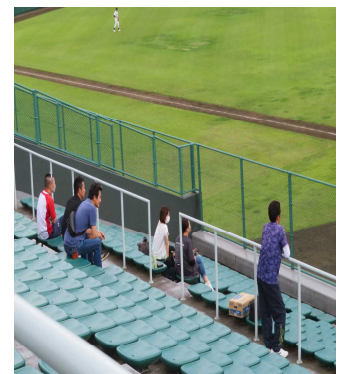
チームの一員として努力した1・2年生

泥にまみれて一所懸命

試合終了の整列



東桂中の顧問の先生の姿 相手は県優勝の富士学苑中学校 6回0:7の善戦 保護者の方々



7月8日(土)に卓球の「県選手権大会」が甲府の「緑が丘体育館」で行われました。卓球部の3年生もこの大会で引退となりました。成績では、桜愛さんが「ベスト32」に入りました。1回戦は、石和中の生徒を相手に2セット取られてからの逆転勝ちです。技術だけでなく気持ちの強さ、粘れる試合運びも流石だと思います。その後の2回戦では、押原中の個人戦ベスト4に入賞した選手に

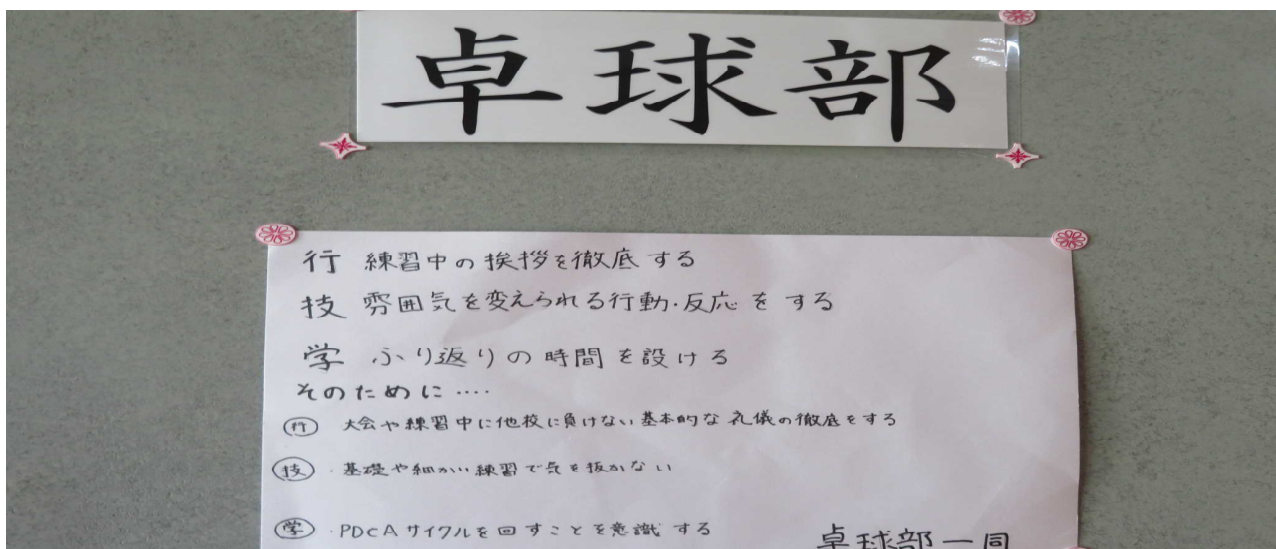


惜しくも敗退でした。桜愛さんも最後に「悔いが無い試合が出来た」と言っていたと聞いています。

佳太さんも、桜之朗さんも、杏奈さんも全員が予選では一勝しました。

顧問の天野先生も、「普段の質を意識した練習の成果を出せた」。また、「礼儀・挨拶はとてますばらしかった」、「仲間を最後まで応援できた」等、日常で培ってきた力を発揮できたと評価していました。

※ 他の部と大会が重なっていたり、また引率・参加した教職員が大会運営の役員になっており、卓球部の写真を十分に撮ることが出来ませんでした。申し訳ありません。ご理解下さい。



3年間努力した卓球部の4名



学校教育重点目標 「居心地が良く、やる気のある学級づくり」

「 合同朝の会で、学習目標の確認をしました 」



千莉さんの思いを伝える表現



意見交流

外川先生の講評



毎週、月曜日と金曜日に「合同朝の会・帰りの会」を開催し、全校で確認すべき事を生徒会を中心に主体的な活動として実践しています。

今週は1学期の「残り2週間の学習目標」を各自が小グループで発表し、全体で確認をしました。

- 授業中に積極的に発言する。
- 分からないことは授業中や授業後に必ず聞く。
- 休み時間を有効に使い、きりかえをしっかりとる。
- 先生の話を中心して聞く。
- 単元構想シートを学習の理解に生かす。
- 理科や社会は、資料集を活用する。

良い点

- ① 学習への取り組みを話題にしている。
- ② 舞桜さんの発言：意見の根拠を示す

例 授業中の発言は、自分の理解だけでなく友人の理解にも繋がる。

課題

- ① 現状分析から、結果につなげる努力と工夫。

